

## 令和2年度の改善評価事項に対する令和3年度の対応について

---

令和4年10月4日

金沢大学では、動物実験委員会において令和2年度の本学における動物実験等の実施状況などについて「研究機関等における動物実験等の実施に関する基本指針」（文部科学省告示第七十一号。）及び「実験動物の飼養及び保管並びに苦痛の軽減に関する基準」（環境省告示第八十八号。）と適合しているかについて点検・評価を行いました。

その結果浮かび上がった主な課題とその改善の方針に対して、令和3年度において以下のとおり対応いたしました。

### 【Ⅱ. 実施状況】

#### 4. 実験動物の飼養保管状況

→ 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。

一部の施設で床の清掃方法が明確でないケースがあり、各実験動物管理者が理解していない場合もあるため、令和3年度内に関連事項を取り纏め、学内施設への周知徹底を行う。

#### 【点検評価を受けてとった対応】

各飼養保管施設の実験動物管理者宛てに、関連事項を取り纏めた資料を送付し、「施設・設備の衛生管理」について周知徹底を図った。

#### 6. 教育訓練の実施状況

→ 動物実験の実施体制が定められているが、一部に改善すべき点がある。

新型コロナウイルス感染症対策として、教職員のみ感染予防対策のうえ対面講習、学生はWEB講習により、遅滞なく適正に動物実験基礎講習を実施したが、日本語での内容理解が難しいとされる外国人に対する英語版WEB講習が未整備であるため、令和3年度内に英語版WEB講習（e-ラーニング）を追加する。

#### 【点検評価を受けてとった対応】

動物実験基礎講習英語版WebClassを追加した。（令和3年8月13日通知）